

読書のまち三郷だより

No.16

平成23年度

6月

三郷市教育委員会

雨の多い季節になりました。雨が続く日は、部屋でじっくり読書がいいですね。学校図書館や市の図書館では、季節の雰囲気を出しながら、季節に関する本が揃えられています。

読書に調べ学習に大きなかゝい！

学校図書館と市の図書館の協力連携が着々と進む！

○小学校の各クラスには「学級おたのしみ文庫セット」が、
(年度前半は北部の小学校・後半は南部の小学校)

○中学校の各クラスには「朝読セット」が、届けられています。

○また、市の図書館と学校、学校と学校を結ぶ配送車が定期的に回っています。学校図書館の本を学校の授業で役立てたい時には、事前の依頼の連絡だけで市の図書館までわざわざ取りに行かなくても、この配送車が学校まで本を届けてくれます。学習の内容を広く深くするために、より豊富な図書を簡単に利用できるシステムです。昨年度から導入されました。利用もたくさんありました。今年度は、さらに、活用が進み、調べ学習等も活発化していくことでしょう。



〈市の図書館からの朝読セット・瑞穂中〉

『五月雨をあつめて早く
「言葉の力」中学校用と小学校
高学年用には、おくのほそ道
(松尾芭蕉)が載っています。』
最上川



五月は旧暦。梅雨の時に降る長雨のことです。空には厚い雲が垂れこめ、夜は「さつき闇」におおわれます。

「団体貸出」

市の図書館は、個人への貸出とは別に『団体貸出』制度を設けています。これは、市内の団体に図書・雑誌を100冊まで1ヶ月貸出をする制度です。また、CD・カセットテープは10点まで2週間借りられます。サークルで登録手をすれば1年間有効です。学校は各先生が団体登録をして授業で活用しています。

— ブックフェア開催 —

「読書のまち三郷」児童書展示会

6月7日(火) 10:00~18:00

6月8日(水) 10:00~17:00

旧保健センター(市立図書館前)

約4000点に近い児童図書が展示されます。ぜひ、おでかけください。ただ、見学のみで購入はできませんのでご了承ください。

「ららほっとでみさとでおはなし会

新三郷・ららシティの中の市の情報発信センター

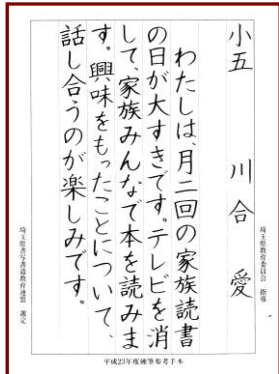
ららほっとで、5月21日にお話会がありました。

「ひまわり」さんが担当あやつり人形の大きなおさるも登場。こどもたちは手遊びも楽しみました。



次回 6月18日(土)

硬筆からも「家読のすすめ」



埼玉県硬筆展覧会の5年生のお手本は、家族と一緒に本を読む家庭読書「家読」を推進している「読書のまち三郷」にピッタリなお手本です。県内全体の全5年生が、これを一緒にけんめい書いていく中で、硬筆の上達とともに、家族読書も推進されることでしょう。この文のように、ぜひ家族で本を読み合い、楽しいひとときを過ごしていきましょう。

学校読書活動推進協議会開催

市内全小中学校28校が読書推進校になって2年目になります。昨年度は、学校司書配置もあり、学校図書館の整備、活用も大幅に進みました。今年度も学校における読書活動の充実を図り、子どもたちの読書や読書活動が充実していくように、全校で協力し合っていきます。

1年間に6回の協議会と読書フェスティバルが計画されています。その第1回目が5月18日に開催されました。



ここがポイント！魅力です！

— 学校図書館の様子 —

彦成中学校



- ・読書センターと学習センターの二部屋が隣り合わせです。各部屋が広くて、両方使えて便利です
- ・読書センターはカーペット敷きで落ち着きます
- ・学習センターでは放課後学習する場としても利用されています
- ・学年を越えて生徒同士が本の薦めあいをしています。薦められて本はブームになったりもします (白石学校司書・談)

彦成小学校



- ・児童用玄関の所に「ほっとランド」2階に低学年用の「パンダ図書館」3階に学校図書館と身近に本があります。
- ・学校図書館は広々として使いやすく、閉架用の図書準備室もあります。
- ・文武両道の校風で子どもたちは外でよく運動します。合間をぬった時間や放課後の時間等を上手に工夫して活用しています (藤野司書教諭・談)

丹後小学校



- ・子どもたちを生かした掲示・畳コーナーを取り入れるなど魅力がある学校図書館整備が進みました。
- ・週3日のブックタイム月1回のロングブックタイム35分間など読む時間の確保と時には読み聞かせ・読書会をもうけるなど内容の工夫をしています。
- ・大子町立大子小学校との読書郵便交流を全児童で行っています。(荒井教頭先生・談)

高州小学校



- ・学校図書館の空間デザイン化も昨年度実施して、学校図書館は明るく、子どもたちの心にも知的にも、オアシスのような存在になっています。
- ・先生方の利用指導や司書さんの存在で、子どもたちの図書活用がさかんです。司書さんへのレファレンスも多いです。
- ・漢字名人や「読書の力」活用積極的に取り組んでいます。(会田校長先生・談)